

賢治紀行

大窪純子

北上川に佇めば

賢治の姿が浮かび出す

ホーホイ今日はいい天気

踊るように跳ねている

ホッホー水が多くって

あの美しい地層こそ見えないが

何という豊かな流れだ

岩手軽便鉄道を彷彿させる上流へ目をやれば

さらに奥から生まれてくる

滔々とした生命の帯が

賢治と一緒にやってくる

梢にもある賢治の声

川石にもある賢治の日

日差しにもある賢治の目

ああそして

ふかふかした土壌にびっしり賢治の根

私は感じる

花巻の大地の全てに賢治が宿っていると

それはまさしく賢治が云った

(あらゆる透明な生命の複合体) 又は

(すべてがわたくしの中のみんなであるよう

に みんなのおのおのなかのすべてです

から)

星も稲も教え子も

童話も宗教も母も父も妹弟も

みんな真(まこと)のかたちになって

この花巻の中に居る

―下ノ畑ニ居リマス 賢治